

# チーム喜中が行く！

諫早市立喜々津中学校  
学校だより No.6  
文責 校長 山田隆幸

## 喜々津中学校スローガン

「人に優しく 自分は楽しく みんなで幸せになる」 について

○本校の校訓は「**自律・創造・敬愛**」です。

学校教育目標は「**心豊かでたくましく、主体的・協働的に歩む生徒の育成**」です。

これらを、具現化、実現していくための合言葉として、スローガンを掲げています。

○今回は、「**人に優しく**」に込めた思いについて書いてみます。

まず「**人に**」についてです。優しくしたい相手としてすぐに思いつくのは「友達」「家族」「チームメイト」などの身近な人や、「お年寄り」「小さい子供」「困っている人」などの、何かしらの支援が必要な可能性が高い人であると思います。スローガンに掲げた「**人に**」とは、「**誰にでも**」という意味です。先述のような相手だけでなく、「自分とは違う意見を持っている人」「対立する立場にある人」「あまり得意でない相手」なども含めた「**誰にでも**」です。

そして、誰にでも「**優しくする**」とは、まず「相手の立場や思いに心を寄せること」から始まっていくと考えています。その上で「相手のためにできること」や「相手のためになること」を考え、判断し、言葉や行動で示すことにつなげていくことが大切であると考えます。そのためには、相手が「どうすれば喜ぶのか」「何に困っているのか」「何をすべきなのか」などの判断材料を手に入れることに力を注ぐ必要があります。「心を寄せる」ことで、たくさんの判断材料を手に入れることができるようになると考えます。

また、「相手のためになること」や「相手が何をすべきか」を思ったときに、相手にとっては厳しいことを伝える必要がある場合があります。このときにも「心を寄せる」ことが大切です。事実や正義を押し付けることが人を傷つけることがあるからです。「人を傷つけてもやむを得ない」理由などありません。なぜそうすることがためになるのか、どうして必要なのか、を丁寧に、穏やかに伝えることが大切です。そして、逆の立場になったときには、相手の本意を察する力を磨くこともとても大切なことです。伝え方や判断力が未熟な中学生だけでなく、私たち大人もまだまだ磨いていかなければならない力であると考えます。

もう一つ、時に「**立場の違い**」が明確な場合には、往々にしてお互いの思いが平行線である場合があります。その時に持っていてほしいものが「**変化を恐れない心**」です。主義、主張、正義、文化などの変えることが難しいものを「**変える勇気**」ということが出来ます。ほんの少しの変化はお互いの思いを平行線でなくします。そして、平行でない直線はいつかどこかで交わるものです。（ここでは平面上の直線と考えてください）どこかで交わることができれば分かり合えると考えています。

○最後に

「人に優しくない」ものの最たるものが「戦争」です。戦争とは国どうしが「**自国の立場**」や「**自国の正義**」を主張しあい、その結果として相手の国の人を傷つけることをいとわない行動を押し付けあうことだと思えます。「相手の立場や思いに心を寄せること」ができていれば、私は戦争など起きないと思っています。私たちは普段の生活の中で「相手の立場や思いに心を寄せること」を忘れてはなりません。

※これまでの「チーム喜中が行く！」は喜々津中学校ホームページでもご覧いただけます。